

平成21年8月期 第2四半期決算短信

平成21年4月6日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 創通
 コード番号 3711 URL <http://www.sotsu-co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 湯浅 昭博
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 出原 隆史
 四半期報告書提出予定日 平成21年4月14日
 配当支払開始予定日 —

TEL 03-3248-0311

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年8月期第2四半期の連結業績(平成20年9月1日～平成21年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年8月期第2四半期	6,977	—	991	—	1,009	—	377	—
20年8月期第2四半期	8,767	43.0	1,305	47.5	1,378	48.7	749	35.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年8月期第2四半期	8,900.04	—
20年8月期第2四半期	17,105.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年8月期第2四半期	13,952	11,092	78.1	257,641.60
20年8月期	14,660	11,342	76.2	260,999.34

(参考) 自己資本 21年8月期第2四半期 10,894百万円 20年8月期 11,166百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年8月期	—	—	—	6,000.00	6,000.00
21年8月期	—	—	—	—	—
21年8月期(予想)	—	—	—	6,000.00	6,000.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年8月期の連結業績予想(平成20年9月1日～平成21年8月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,400	△3.4	1,700	△7.9	1,740	△14.0	800	△24.5	18,839.49

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年8月期第2四半期 43,000株 20年8月期 44,000株

② 期末自己株式数 21年8月期第2四半期 715株 20年8月期 1,218株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年8月期第2四半期 42,464株 20年8月期第2四半期 44,000株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想につきましては、当社が現時点で合理的であると判断する一定の条件に基づき作成しておりますが、実際の業績は、様々な要因によって大きく異なる可能性があります。上記予想に関連する事項につきましては、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国サブプライムローン問題に端を発した金融危機により、大手金融機関の経営破綻が起きる等、世界金融市場の混乱から株価の下落、急激な円高の進行が発生いたしました。それにより実体経済に与える影響も深刻化し、企業収益の低迷から、設備投資の減速、雇用不安の表面化、個人消費の低迷等、景気後退が鮮明となり推移いたしました。

当社グループを取り巻く事業環境におきましては、テレビアニメーション番組数の減少及び企業の広告予算の縮小の影響からスポンサーが新規作品への投資に慎重となり、製作委員会組成の時期が後倒しになる等厳しい事業環境となっております。また、企業の新卒採用を手控える傾向が顕著となり、就職情報事業を行う子会社・株式会社ジェイ・ブロードの事業環境は売り手市場であった前年から一転、市場規模が縮小しております。

このような状況のもと当社グループでは、中核事業であるアニメーション番組のプロデュースにおいて、より良い作品の企画・放送枠の提案により、新たなスポンサー開拓を含めた営業活動に注力するとともに、新たな二次利用の市場を開拓し、アニメーションキャラクターの著作権ビジネスを拡大するという方針のもと、事業展開を図ってまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は6,977百万円(前年同期比20.4%減)、営業利益991百万円(前年同期比24.0%減)、経常利益1,009百万円(前年同期比26.8%減)、四半期純利益377百万円(前年同期比49.6%減)となりました。

事業の種類別セグメントの概況は、次のとおりであります。

(メディア事業)

メディア事業におきましては、10月の番組改編時において、大型プロジェクトである「機動戦士ガンダム00(ダブルオー)」2ndシーズンがスタートし、制作出資を行った「ゴルゴ13」「しゅごキャラ!!どきっ」「ちびアニ劇場」の他2番組、長寿番組の「それいけ!アンパンマン」「子育てパラダイス」等のプロデュース・取扱を計画通り行ってまいりました。しかし、製作委員会組成の遅れから、テレビアニメーション番組制作受託の売上高が下半期に後倒しになる等の影響がでております。

また、「スーパーロボット大戦」シリーズ、「機動戦士ガンダム」シリーズを中心としたキャラクター商品の広告収入・イベントの開催も計画通り推移いたしましたが、大型キャンペーンの集中した前年同期に比べ、売上高が大幅に減少しております。

就職情報事業を行う子会社・株式会社ジェイ・ブロードについては、新卒採用環境の急激な悪化及び前年の薬科大学6年制移行による特需の反動減により、前年同期に比べ採用広告収入が大きく減少いたしました。

この結果、メディア事業の売上高は5,414百万円(前年同期比22.9%減)、営業利益271百万円(前年同期比49.0%減)となりました。

(ライセンス事業)

ライセンス事業におきましては、「ガンダム」シリーズが堅調に推移し、概ね計画通りの結果となりました。しかし、「ガンダム」シリーズ以外の著作権収入については、「ひぐらしのなく頃に」シリーズ・「瀬戸の花嫁」シリーズ以外に大きなヒット作がなく、個人消費低迷の影響から商品化権による著作権収入は低調な結果となり、前年同期に比べ売上高は減少しております。

この結果、ライセンス事業の売上高は1,338百万円(前年同期比20.8%減)、営業利益755百万円(前年同期比10.2%減)となりました。

(スポーツ事業)

スポーツ事業におきましては、新規の球場看板広告の受注及び読売巨人軍の日本シリーズ進出による球団グッズの売上高増加の影響により前年同期に比べ大きく伸長いたしました。

この結果、スポーツ事業の売上高は225百万円(前年同期比285.3%増)、営業利益11百万円(前年同期は営業損失24百万円)となりました。

上記文中における前年同期比につきましては、参考として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態の変動状況

当第2四半期連結会計期間における総資産は、前連結会計年度末に比べ707百万円減少し、13,952百万円となりました。主な要因は、投資有価証券の減少661百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ458百万円減少し、2,860百万円となりました。主な要因は、買掛金の減少208百万円及び未払法人税等の減少101百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ249百万円減少し、11,092百万円となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金の減少277百万円によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ111百万円減少し、7,785百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は362百万円となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益765百万円、仕入債務の減少額208百万円及び法人税等の支払額507百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は65百万円となりました。主な要因は、投資有価証券の取得による支出100百万円等であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は408百万円となりました。主な要因は、自己株式の取得による支出115百万円及び配当金の支払額256百万円等であります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

メディア事業においては、期初の計画通りテレビアニメーション番組のプロデュースを行うとともに、下半期には「機動戦士ガンダム30周年」プロジェクトをパートナー企業との協力のうえ推進することや大型の販促キャンペーンを予定しております。しかし、就職情報事業を行う子会社・ジェイ・ブロードに関しては事業環境が急激に悪化したことから、採用広告収入が期初の計画より落ち込むことを予想しております。また、アニメーション事業に関して、製作委員会組成の遅れから、テレビアニメーション番組制作受託の売上高が期初の計画から一部翌期に後倒しとなることを予想しております。

ライセンス事業においては、新たな市場を開拓することを目的として、4月に香港においてキャラクターイベント「C3 in HongKong 2009」を開催いたします。著作権収入についても、個人消費低迷の影響はあるものの、概ね期初の計画通りに推移すると予想しております。

スポーツ事業においては、WBCアジアラウンドのスポンサードや球団グッズの売上が順調に推移しており、期初の計画通りに推移すると予想しております。

この様な、計画・予想のもと、平成21年4月1日付け「平成21年8月期 通期の連結業績予想の修正に関するお知らせ」で発表をいたしました通り、連結売上高は15,400百万円、営業利益1,700百万円、経常利益1,740百万円を、また第2四半期末の減損処理による有価証券評価損を特別損失に計上したことを受け、当期純利益800百万円を予想しております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

該当事項はありません。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

・会計処理基準に関する事項の変更

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
2. 通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として移動平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として移動平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。これによる損益に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年2月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,785,602	7,897,303
受取手形及び売掛金	2,066,414	2,110,637
商品	376	353
仕掛品	28,199	31,661
貯蔵品	7,926	10,552
繰延税金資産	112,807	132,490
その他	712,132	838,050
貸倒引当金	△127,315	△125,938
流動資産合計	10,586,144	10,895,111
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	63,786	66,458
車両運搬具(純額)	4,313	5,449
工具、器具及び備品(純額)	18,820	21,257
土地	322,711	322,711
有形固定資産合計	409,632	415,877
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	2,051,240	2,712,752
繰延税金資産	494,483	217,468
その他	313,916	322,267
投資その他の資産合計	2,859,641	3,252,488
固定資産合計	3,366,662	3,765,178
資産合計	13,952,806	14,660,290

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年2月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,708,155	1,916,327
短期借入金	43,834	74,000
未払法人税等	410,547	511,922
賞与引当金	43,015	46,114
その他	140,312	254,919
流動負債合計	2,345,864	2,803,284
固定負債		
退職給付引当金	70,037	65,477
その他	444,225	449,436
固定負債合計	514,262	514,914
負債合計	2,860,126	3,318,199
純資産の部		
株主資本		
資本金	414,750	414,750
資本剰余金	391,240	498,747
利益剰余金	10,488,663	10,486,737
自己株式	△164,646	△275,791
株主資本合計	11,130,007	11,124,444
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△235,633	41,629
評価・換算差額等合計	△235,633	41,629
少数株主持分	198,305	176,016
純資産合計	11,092,680	11,342,090
負債純資産合計	13,952,806	14,660,290

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年9月1日 至平成21年2月28日)
売上高	6,977,430
売上原価	5,405,721
売上総利益	1,571,709
販売費及び一般管理費	580,174
営業利益	991,534
営業外収益	
受取利息	1,578
受取配当金	11,514
持分法による投資利益	2,473
匿名組合投資利益	2,011
投資事業組合運用益	7,471
その他	2,724
営業外収益合計	27,773
営業外費用	
支払利息	666
支払手数料	5,420
上場関連費用	3,872
その他	9
営業外費用合計	9,970
経常利益	1,009,337
特別利益	
投資有価証券売却益	140
特別利益合計	140
特別損失	
固定資産除却損	16
投資有価証券評価損	241,055
会員権評価損	2,886
特別損失合計	243,958
税金等調整前四半期純利益	765,519
法人税、住民税及び事業税	408,169
法人税等調整額	△49,947
法人税等合計	358,221
少数株主利益	29,366
四半期純利益	377,931

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年9月1日 至 平成21年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	765,519
減価償却費	21,342
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,377
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3,099
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	4,559
受取利息及び受取配当金	△13,093
支払利息	666
持分法による投資損益 (△は益)	△2,473
投資有価証券評価損益 (△は益)	241,055
売上債権の増減額 (△は増加)	44,223
たな卸資産の増減額 (△は増加)	6,063
仕入債務の増減額 (△は減少)	△208,172
その他	△91
小計	857,877
利息及び配当金の受取額	13,184
利息の支払額	△602
法人税等の支払額	△507,887
営業活動によるキャッシュ・フロー	362,572
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△1,885
無形固定資産の取得による支出	△15,690
投資有価証券の取得による支出	△100,600
投資有価証券の売却による収入	45,800
その他	7,005
投資活動によるキャッシュ・フロー	△65,369
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△30,165
自己株式の取得による支出	△115,675
配当金の支払額	△256,680
少数株主への配当金の支払額	△6,383
財務活動によるキャッシュ・フロー	△408,904
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△111,701
現金及び現金同等物の期首残高	7,897,303
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,785,602

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第2四半期連結累計期間(自平成20年9月1日至平成21年2月28日)

	メディア事業 (千円)	ライツ事業 (千円)	スポーツ事業 (千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	5,414,352	1,338,030	225,047	6,977,430	—	6,977,430
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,414,352	1,338,030	225,047	6,977,430	—	6,977,430
営業利益	271,520	755,223	11,080	1,037,824	△46,290	991,534

(注) 1. 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各区分に属する主要な品目

- (1) メディア事業……テレビ番組提供・テレビ広告・アニメーション作品制作・採用広告
- (2) ライツ事業……商品化権・ビデオ化権・番組販売権
- (3) スポーツ事業……球団グッズ販売・球団スポンサード・球場看板広告

[所在地別セグメント情報]

当第2四半期連結累計期間(自平成20年9月1日至平成21年2月28日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

当第2四半期連結累計期間(自平成20年9月1日至平成21年2月28日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

1. 自己株式の取得

当社は、平成20年9月1日開催の取締役会決議に基づき、自己株式を取得することを決議し、当第2四半期連結累計期間において普通株式497株を取得しました。この取得により自己株式が115,675千円増加しております。

2. 自己株式の消却

当社は、平成20年9月1日開催の取締役会決議に基づき、自己株式を消却することを決議し、平成20年9月10日付で普通株式1,000株を消却しました。この消却により資本剰余金が107,507千円、利益剰余金が119,313千円、自己株式が226,820千円減少しております。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) 中間連結損益計算書

区分	前中間連結会計期間 (自 平成19年9月1日 至 平成20年2月29日)	
	金額 (千円)	百分比 (%)
I 売上高	8,767,956	100.0
II 売上原価	6,883,208	78.5
売上総利益	1,884,748	21.5
III 販売費及び一般管理費	579,401	6.6
営業利益	1,305,346	14.9
IV 営業外収益		
1. 受取利息	1,944	
2. 受取配当金	33,443	
3. 匿名組合投資収益	29,265	
4. 投資事業組合等投資収益	12,142	
5. 保険解約益	10,571	
6. その他	770	
	88,139	1.0
V 営業外費用		
1. 支払利息	123	
2. 持分法による投資損失	6,150	
3. 上場関連費用	7,265	
4. その他	1,863	
	15,403	0.2
経常利益	1,378,082	15.7
VI 特別利益		
1. 固定資産売却益	971	
2. 投資有価証券売却益	41,620	
3. 匿名組合清算益	59,693	
4. 会員権売却益	5,476	
	107,761	1.2
VII 特別損失		
1. 固定資産除却損	11,013	
2. 投資有価証券売却損	26,102	
	37,116	0.4
税金等調整前中間純利益	1,448,727	16.5
法人税、住民税及び事業税	658,829	
法人税等調整額	△10,952	
	647,877	7.4
少数株主利益	51,602	0.6
中間純利益	749,247	8.5

(2) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 (自 平成19年9月1日 至 平成20年2月29日)
区分	金額 (千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純利益	1,448,727
減価償却費	22,812
賞与引当金の増加額	1,821
退職給付引当金の増加額	2,891
貸倒引当金の増加額	581
受取利息及び受取配当金	△35,387
支払利息	123
持分法による投資損失	6,150
固定資産売却益	△971
固定資産除却損	11,013
投資有価証券売却益	△41,620
投資有価証券売却損	26,102
匿名組合投資収益	△29,265
投資事業組合等投資収益	△12,142
匿名組合清算益	△59,693
売上債権の増加額	△601,239
たな卸資産の減少額	7,440
前渡金の増加額	△430,307
仕入債務の増加額	250,469
未払消費税等の増加額	24,432
その他	△32,150
小計	559,789
利息及び配当金の受取額	35,447
利息の支払額	△316
法人税等の支払額	△287,574
営業活動によるキャッシュ・フロー	307,345
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△24,594
有形固定資産の売却による収入	1,485
無形固定資産の取得による支出	△41,557
投資有価証券の取得による支出	△22,290
投資有価証券の売却による収入	459,676
匿名組合投資取引による収入	123,802
その他	10,692
投資活動によるキャッシュ・フロー	507,212
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の増加額	120,000
自己株式の取得による支出	△221,000
配当金の支払額	△219,980
少数株主への配当金の支払額	△2,553
財務活動によるキャッシュ・フロー	△323,533
IV 現金及び現金同等物の増加額	491,024
V 現金及び現金同等物の期首残高	6,170,342
VI 現金及び現金同等物の中間期末残高	6,661,366

(3) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前中間連結会計期間（自 平成19年9月1日 至 平成20年2月29日）

	メディア事業 （千円）	ライツ事業 （千円）	スポーツ事業 （千円）	計（千円）	消去又は全 社（千円）	連結 （千円）
売上高						
（1）外部顧客に対する売上高	7,020,956	1,688,586	58,413	8,767,956	—	8,767,956
（2）セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	7,020,956	1,688,586	58,413	8,767,956	—	8,767,956
営業費用	6,488,346	847,637	82,786	7,418,770	43,840	7,462,610
営業利益又は営業損失（△）	532,610	840,948	△24,372	1,349,186	△43,840	1,305,346

（注）1. 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各区分に属する主要な品目

(1) メディア事業……テレビ番組提供・テレビ広告・アニメーション作品制作・採用広告

(2) ライツ事業……商品化権・ビデオ化権・番組販売権

(3) スポーツ事業……球団グッズ販売・球団スポンサード・球場看板広告

〔所在地別セグメント情報〕

前中間連結会計期間（自 平成19年9月1日 至 平成20年2月29日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

前中間連結会計期間（自 平成19年9月1日 至 平成20年2月29日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

6. その他の情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

該当事項はありません。

② 受注実績

該当事項はありません。

③ 商品仕入実績

当第2四半期連結累計期間の商品仕入実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年9月1日 至 平成21年2月28日)
スポーツ事業 (千円)	34,343

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

④ 販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年9月1日 至 平成21年2月28日)
メディア事業 (千円)	5,414,352
ライツ事業 (千円)	1,338,030
スポーツ事業 (千円)	225,047
合計 (千円)	6,977,430

(注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。

2. 当第2四半期連結累計期間における主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年9月1日 至 平成21年2月28日)	
	金額 (千円)	割合 (%)
株式会社バンダイ ナムコゲームス	1,075,186	15.4
株式会社バンダイ	853,765	12.2

3. 本表の金額には、消費税等は含まれておりません。